

◆環境面から目指す都市像（環境都市像）◆

（仮）杜の恵みを活かした、持続可能なまち

■ 「杜の都」の資源が活用され、持続的に発展するまち

本市は、「杜の都」のシンボルであるケヤキ並木や、豊かな森林、恵みをもたらす農地や海など多彩な自然環境を有しており、これらの自然と共に暮らしてきた歴史や文化があります。

また、地球温暖化対策や、ごみの減量リサイクルの推進、環境教育・学習の推進など、さまざまな分野において市民協働により、環境課題に取り組む力もあります。

こうした「杜の都」のあらゆる資源を最大限活かすとともに、地域をつなぎ、市域内での循環を図ることにより、都市としての持続的な発展を目指します。



■ 環境と成長の好循環が実現し、豊かで幸せな暮らしが営まれるまち

これまで環境への取り組みは、経済成長や快適な生活と相反するといったイメージを抱かれがちでしたが、近年は、むしろ企業価値の向上や質の高い生活につながるという考え方が広まっています。

こうした機会を捉え、環境への取り組みを推進しながら、あわせて経済の活性化や、心の豊かさ、まちの品格・風格も向上させ、環境と成長の好循環を生み出し、豊かで幸せな暮らしが営まれるまちを目指します。



■ 全ての人や企業が環境のことを考え、行動するまち

地球温暖化対策やプラスチック等の資源循環の推進など、多岐にわたる環境課題の解決に向けては、一人ひとりが環境に配慮して行動することが重要です。

環境配慮行動が、まち全体の成長につながるという考え方が共有され、仙台ならではの、環境にやさしいライフスタイルやビジネススタイルが定着したまちを目指します。

また、こうしたまちのあり方を「杜の都スタイル」として内外に発信することにより、まちへの愛着や誇りを醸成するとともに、杜の都のブランド力の向上を図ります。



◆重点的な取り組み◆

・地域の特性を活かした、分野横断的な取り組みを展開（資料2 参照）



◆分野別施策◆

■ 施策体系（施策分野）

脱炭素都市づくり

【目指す姿】
自然資源の活用やライフスタイルの変革により、便利で快適でありながら脱炭素化が進んだまち

自然共生都市づくり (生物多様性地域戦略)

【目指す姿】
自然環境や生物多様性を保全し、都市の資源として活用することにより、人と自然が支え合う魅力あふれるまち

資源循環都市づくり

【目指す姿】
限りある資源の大切さが認識され、ごみの減量やリサイクル・適正処理が進むことで、資源が地域で無駄なく、循環的に利活用されるまち

快適環境都市づくり

【目指す姿】
健康で安全安心かつ、快適な暮らしが営まれるとともに、地域資源が活かされ、その魅力を体感できるまち

環境を支える人づくり (環境教育等推進行動計画)

【目指す姿】
全ての人や企業が杜の都の環境を大切にし、行動するまち

■ 取り組み例

脱炭素

- ・自然資源を活用したエネルギーの地産地消
- ・脱炭素社会の実現に向けたライフスタイル・ビジネススタイルの変革
- ・環境に優しい交通利用の促進
- ・気候変動影響に備えた適応策の推進

自然共生

- ・多様な生きものや自然環境の保全
- ・グリーンインフラの活用
- ・里地里山の保全・活用
- ・自然や生きものに対する愛着の醸成

資源循環

- ・「リデュース」「リユース」など、資源を有効かつ大切に使うライフスタイルへの変革の啓発
- ・資源の循環利用に向けた効果的な「リサイクル」の実施・検討
- ・廃棄物の適正排出の指導啓発や、適正処理を行うための施設整備等の体制の確保

快適環境

- ・関係法令等に基づく環境保全対策の推進
- ・環境アセスメント等を通じた事業者による環境配慮の推進
- ・自然や景観、歴史、文化等の地域資源を活かした、賑わい創出
- ・市民が心地良いと感じる環境や、守りたいと思う環境の保全

環境教育・学習

- ・大学や企業、NPO等と連携した環境教育・学習の推進
- ・子どもの環境教育・学習の充実
- ・地域資源を活用した体験学習の推進
- ・環境教育・学習に関わる人材の確保と育成、活躍の場の創出

◆推進のための取り組み◆

- ・環境配慮の指針（市民・事業者・NPO・行政など主体別の指針、地域特性を踏まえた地域別の指針）
- ・市民参加を促すための、情報発信の創意工夫や環境情報のデータベース化
- ・市民協働による取り組みや、各主体間の交流の推進
- ・プラン全体の取り組みを牽引する、市の率先行動の推進